

# 京都フィロムジカ管弦楽団

## 第42回定期演奏会

ブルックナー／序曲ト短調

ドヴォルジャーク／交響的変奏曲

ブラームス／交響曲第2番

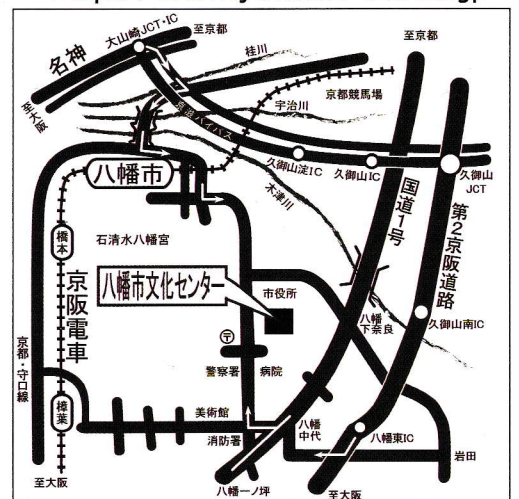
2018年1月21日(日) 午後1時開場 2時開演  
1時15分よりロビーコンサートを開催いたします

指揮 柴 愛

八幡市文化センター  
(大ホール)



<http://www.yawata-bunka.jp>



前売券800円 (当日券900円) 全席自由席

【チケット取り扱い】

八幡市文化センター、京都芸術センター(窓口販売のみ10:00-22:00)  
JEUGIA三条本店3階APEX

※ホームページでのご予約も可能です <http://www.kyotophilos.com/>

【お問合せ】070-6506-4032 [ticket@kyotophilos.com](mailto:ticket@kyotophilos.com)

京阪・八幡市駅バスターミナル1番乗り場よりバスで5分、「八幡市役所」下車すぐ。  
(その他、京阪・樟葉駅からもバスがあります)  
または京阪・八幡市駅より徒歩20分。  
八幡市役所のとなり。

- ・乳幼児等就学前のお子様のご同伴、ご入場は固くお断りいたします。
- ・係員の指示に従っていただけない場合はご退場いただくことがあります。

 **KYOTO ART CENTER** 京都芸術センター  
制作支援事業  
京都芸術センター

後援:八幡市、八幡市教育委員会

# 京都フィロムジカ管弦楽団 第42回定期演奏会

今回の演奏会は、中欧ゆかりの大作作曲家たちの逸品が演奏されます。

1曲目は、オーストリアの大作作曲家ブルックナー若き日の作品『序曲ト短調』。後年の大シンフォニーを髣髴とさせる、堅牢な風格と憧れに満ちた歌が聴かれる魅力的な小品です。

2曲目は、チェコを代表する作曲家ドヴォルジャークの『交響的変奏曲』。信仰心の篤かったドヴォルジャークらしい、宗教的厳粛さをもった旋律と壮麗なフーガが印象的です。そうした中に、田園情緒あふれる鄙びた味わいがあるのがまた魅力的です。

最後に演奏されるのは北ドイツに生まれ、ウィーンで活躍したブラームスの傑作『交響曲第2番』。ブラームスは内に秘めた熱い情熱と憂いが滲み出るような旋律が魅力です。それに加えて、この交響曲第2番は、「ブラームスの田園交響曲」と呼ばれることもあるほど、明るい輝かしさに満ちた作品で、彼の作品の中でもとりわけ親しみやすく感じられる作品です。

指揮はフィロムジカの常連指揮者の一人、柴愛氏。ウィーンを活動拠点の一つにする氏は、今回演奏する作曲家たちへの共感に満ちた名演を繰り広げてくれるに違いありません。

## 指揮 柴愛 (しば あい)

同志社女子大学学芸学部音楽学科演奏ヴァイオリン専攻を卒業。在学中より、ザ・カレッジ・オペラハウス、関西二期会、関西歌劇団ほか、関西一円にてオペラ・アシスタントを務める。

2006年、イタリアのトッレ・デル・ラーゴにて開催されるブッチーニ・フェスティヴァルにおいて、堺シティオペラ『蝶々夫人』のアシスタント・コンダクターを務める。2010年、ウィーン国際音楽ゼミナールにおいて Andres Orozco-Estrada 氏のもとディプロムを取得、ファイナルコンサートを指揮する。2014年のニューイヤール・オペラ・ファミリーコンサートではアンサンブル神戸と共演するなどオペラ指揮者としての活動の場を広げる。2016年・2017年、イタリアのオルヴィエート国際夏期講習会にてマウリツィオ・アレナ氏のもとディプロム取得。ルイジ・マンチネッリ国際指揮者コンクール・セミファイナリストに選出される。現在、ウィーン・フォルクスオーパー指揮者 Alfred Eschwe 氏のもと、同歌劇場で研鑽を積む。

これまでに、モーツァルト『コジ・ファン・トゥッテ』、ドニゼッティ『ドン・パスクアーレ』『愛の妙薬』、フンパーディンク『ハンゼルとグレーテル』、ラヴェル『子供と魔法』、ブッチーニ『トスカ』などを指揮。

ヴァイオリンを梅原ひまり氏に、指揮を高階正光・Klaus Hoevelmann・Niels Muus・Alfred Eschwe・Maurizio Arena の各氏らに師事。

## 管弦楽 京都フィロムジカ管弦楽団

1996年創立。知名度の低い傑作に光を当てる斬新な選曲を身上としており、日本初演・関西初演も多く手がける。遠く北海道や九州からも聴衆が駆けつけるなど、その姿勢は全国的に注目されている。また、若々しい熱気を前面に出した激しい演奏に定評がある。年2回の定期演奏会のほか、依頼を受けての演奏会も精力的にこなす。特定の母体を持たない珍しいアマチュアオーケストラで、団員の本業や出身地は様々であり、東北や東海など遠方在住の参加者もいる。学生オーケストラの経験のない人や大人になってから楽器を始めた人など楽器歴も様々に異なる奏者たちが集って音楽を作り上げている。団名の「フィロムジカ」は、「音楽を愛する」という意味の造語である。

## 新 入 団 員 大 募 集 中

私たちと一緒に演奏しませんか？お気軽に練習にお越しください。団員一同お待ちしております！  
遠方からの参加も歓迎します。関西地区以外の方々もご興味があればぜひご連絡ください！

●募集パート ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス **(ヴァイオリン・ヴィオラ急募!!)**  
オーボエ・ファゴット / テューバ・打楽器(諸条件については要相談)

(参加資格) 特にありませんが練習に出席できること。学生の参加も歓迎します。

(練習日時) 原則日曜日(午後1~5時)、春と秋に合宿練習(大津市内)

(練習場所) 京都芸術センター、河原町丸太町、伏見区など京都市内の各所、大津市など。

(諸費用) 団費3000円/月(学生は1000円)、演奏会参加費など

※遠距離割引、学生割引、家族割引などあり(ご相談ください)

京都フィロムジカ管弦楽団では、2018年度冬季の演奏会で、ブルックナーの大曲・交響曲第5番の演奏を目指しており、それに向けて団員を増強しています。一緒に演奏したい！という多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

Webサイト(<http://www.kyotophilo.com/>)では、過去の演奏曲も紹介しております。是非一度ご覧ください。

入団・見学に関するお問い合わせ先 E-mail: [recruit@kyotophilo.com](mailto:recruit@kyotophilo.com)

<お知らせ> 京都フィロムジカ管弦楽団 第43回定期演奏会 2018年6月24日(日) 長岡京記念文化会館  
別宮貞雄/交響曲第3番『春』 ラフ/交響曲第3番『森にて』(予定)